

理念・中期環境計画

経営理念

富士通ゼネラルグループは、富士通グループの一員として共通の経営理念を基盤としており、富士通株式会社の「FUJITSU Way」や「富士通グループ環境方針」を富士通ゼネラル向けにアレンジし、「FUJITSU GENERAL Way」並びに「富士通ゼネラルグループ環境方針」として制定しています。富士通ゼネラルグループ社員は、日々の活動において、これらの実践に努めています。

FUJITSU GENERAL Way

FUJITSU GENERAL Way は、一人ひとりが共有・実践すべき行動原則を示したものです。富士通ゼネラルグループは、共通の理念・指針の下に、快適で安心できる社会づくりへの貢献を目指します。

企業理念	富士通ゼネラルグループは、常に変革に挑戦し続け快適で安心できる社会づくりに貢献し豊かで夢のある未来を世界中の人々に提供します	経営目標	■ 世界に通じる事業の育成
			■ 世界の人々との共生
			■ 風通しの良い経営
企業指針	目指します	行動指針	良き社会人 常に社会・環境に目を向け、良き社会人として行動します
	社会・環境 社会に貢献し地球環境を守ります		お客様起点 お客様起点で考え、誠意をもって行動します
	利益と成長 お客様、社員、株主の期待に応えます		三現主義 現場・現物・現実を直視して行動します
	株主・投資家 企業価値を持続的に向上させます		チャレンジ 高い目標を掲げ、達成に向けて粘り強く行動します
	グローバル 常にグローバルな視点で考え判断します		スピード 目標に向かって、臨機応変かつ迅速に行動します
	大切にします		チームワーク 組織を超えて目的を共有し、一人ひとりが責任をもって行動します
	社員 多様性を尊重し成長を支援します	行動規範	■ 人権を尊重します
	お客様 かけがえのないパートナーになります		■ 法令を遵守します
	お取引先 共存共栄の関係を築きます		■ 公正な商取引を行います
	技術 新たな価値を創造し続けます		■ 知的財産を守り尊重します
品質 お客様と社会の信頼を支えます	■ 機密を保持します		
		■ 業務上の立場を私的に利用しません	

環境方針

富士通ゼネラルグループ環境方針

富士通ゼネラルグループ環境方針は、富士通ゼネラルグループの環境経営理念・指針として 2003 年に制定しました。また、社会環境の変化を受けて、2012 年に改訂しています。

理念

富士通ゼネラルグループは、地球環境保全への取り組みが重要な経営課題であると認識し、快適で安心できる社会づくりに貢献し、豊かで夢のある未来を世界中の人々に提供することで、社会の持続可能な発展に貢献します。また、事業活動にかかわる環境法や環境上の規範を遵守するにとどまらず、自主的な地球環境保全活動に努めます。さらに、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、すべての組織と一人ひとりの行動により先行した取り組みを追求していきます。

行動指針

- 優れたテクノロジーを追求し、快適で安心安全な製品およびサービスを提供することにより、お客様や社会の環境負荷低減と環境効率の向上に貢献します。
- 製品のライフサイクルのすべてにおいて環境負荷を低減します。
- 省エネルギー、省資源および3R（リデュース、リユース、リサイクル）を強化したトップランナー製品を創出します。
- 化学物質や廃棄物などによる自然環境の汚染と健康影響につながる環境リスクを予防します。
- 環境に関する事業活動、製品およびサービスについての情報を開示し、それに対するフィードバックにより自らを認識し、これを環境活動の改善に活かします。
- 社員一人ひとりは、それぞれの業務や市民としての立場を通じて気候変動対策や生物多様性保全を始めとした地球環境保全に貢献し、更に広く社会へ普及啓発を図ります。

理念・中期環境計画

中期環境計画

中期環境計画

富士通ゼネラルグループでは、「富士通ゼネラルグループ環境方針」を実践する具体的な計画として、2030年度を最終目標年度とする「中期環境計画」を2016年に策定しました。持続可能な社会を実現するために、中期的に達成すべき目標を全社員が共有し、SDGsの達成に貢献しながら、環境負荷低減と企業価値向上の両立を目指します。

1. お客様や社会のための活動

国内における当社製品の使用によるCO₂排出量を2030年度までに28%削減（2013年度比）

環境負荷低減に寄与するとともに、省エネ性に優れた高付加価値エアコンの開発力を高め、商品力強化を推進するために、2030年度までに国内における当社エアコン1台使用時の平均CO₂排出量28%削減（2013年度比）を目指します。なお、海外向けエアコンについても、省エネ性をさらに高めた製品の開発を進め、環境負荷低減に努めていきます。

2. 自らの環境負荷低減のための活動

当社グループ全体の事業活動に伴うCO₂排出量を2030年度までに30%削減（2013年度比）

全事業プロセスに潜在するムダを削減するとともに、プロセスを見直すことによる改善・改革などを進め、2030年度までに連結売上高原単位で30%のCO₂排出量削減（2013年度比）を目指します。

環境課題への解決に向けて（SDGs への取り組み）

富士通ゼネラルグループは中期環境計画を達成させ、製品・サービス及び事業活動を通じて SDGs の達成に貢献していきたいと考えています。

SDGs（エスディーゼーズ）

2015年9月に国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」において、2016年から2030年までの長期的な開発の指針として、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。この文書の中核を成す「持続可能な開発目標」がSDGsです。SDGsは国際社会共通の目標であり、17のゴールと169のターゲット（具体的な目標）で構成されています。



富士通ゼネラルグループの環境活動と関わりが深い SDGs

